

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-ア	全産業における労働生産性の向上	施 策	①リゾテックおきなわの推進による産業DXの加速化
			施策の小項目名	○全産業におけるDX促進
主な取組	コンタクトレス決済端末機導入整備事業		対応する成果指標	各種支援によりDXの取組が促進された企業数（累計）
施策の方向	・小売業や飲食店・宿泊業等サービス業における予約・注文のオンライン化やキャッシュレス決済の導入、建設産業におけるi-Construction及びBIM／CIM等の促進、医療・介護分野におけるロボット・ICT化、農林水産業におけるドローン活用及びデータ分析等による生産性向上など、全産業におけるDXを促進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
コンタクトレス決済端末機の導入支援	県,民間等	コンタクトレス決済端末機普及		
		コンタクトレス決済端末機普及件数(累計)		
		750件	700件(1,450件)	700件(2,150件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

-

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

-

-

41,200

-

令和5年度活動内容

本事業により作成した成功事例集を効果的に活用し、コンタクトレス化（キャッシュレス化）のメリットを伝えていくことにより、普及を図った。

予算事業名

-

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

-

-

-

令和6年度活動計画

本事業により作成した成功事例集を効果的に活用し、コンタクトレス化（キャッシュレス化）のメリットを伝えていくことにより、普及を図っていく。

活動指標名

コンタクトレス決済端末機普及
件数（累計）

R5年度

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

413 (441)

550件 (991件)

0 件
(991件)

700件
(1,450件)

0.0%

やや遅れ

本事業により作成した成功事例集について、周知等を図った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

本事業による補助の対象となる小規模事業者の中には、キャッシュレスより現金管理を望む意見もあったこと等から目標値を達成できなかったものの、補助事業の実施により、キャッシュレス化の促進や観光消費額の向上に一定程度寄与したものと考えられる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 本事業により作成した成功事例集を効果的に活用し、コンタクトレス化（キャッシュレス化）のメリットを伝えていくことにより、普及を図っていく。

○ 本事業により作成した成功事例集について、端末機取扱事業者への配布等の周知等を図った結果、民間企業において本事例集を営業ツールの一環として活用しているとの連絡を受けている。

- 2 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	事業者の中には、現金管理を望む意見もあるため、コンタクトレス化（キャッシュレス化）のメリットを分かりやすく伝えていくことにより、普及を図る必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	引き続き、本事業により作成した成功事例集の更なる周知を図る等、効果的に活用し、コンタクトレス化（キャッシュレス化）のメリットを伝えていくことにより、普及を図っていく。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-イ	地域・産業間連携による「稼ぐ力」と域内自給率の向上	施 策	②観光産業と多様な産業との連携
			施策の小項目名	〇市場ニーズの把握
主な取組	観光統計実態調査		対応する成果指標	一人当たり観光消費額（土産・買物費、飲食費）
施策の方向	・国内及びアジア展開や外国人観光客等の増加を踏まえ、観光業における実態調査を行い、市場ニーズに対応した食嗜好やパッケージ等の新たなニーズ・課題に対応する県内企業の商品開発、デザイン開発等を促進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
観光統計実態調査を実施し、成果指標である「持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた観光客の割合」を算出するとともに、旅行者の属性や旅行内容を調査する。	県	観光統計実態調査の実施による施策の企画・立案の促進		
		観光統計実態調査の実施回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光政策課 【 098-866-2763 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/kikaku/report/quest/jittai_top.html

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

県民・観光客実態調査事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

委託

23,743

56,364

令和5年度活動内容

観光統計実態調査を実施し、成果指標である一人当たり消費額（土産・買物費、飲食費）を算出するとともに、旅行者の属性や旅行内容を調査した。

予算事業名

県民・観光客実態調査事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

56,275

令和6年度活動計画

観光統計実態調査を実施し、成果指標である一人当たり消費額（土産・買物費、飲食費）を算出するとともに、旅行者の属性や旅行内容を調査する。

活動指標名

観光統計実態調査の実施回数
(累計)

R3年度

R4年度

実績値

1回

—

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

1回 (2回)

1回 (2回)

100.0%

進捗状況

順調

活動概要

観光客へのアンケート調査を1回実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

観光統計実態調査を実施できたことにより目標値を達成した。また、本調査の実施により、施策の企画・立案を促進した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 通年で調査を実施できるようアンケート調査票の設置場所である各空港側と早期に調整するとともに、アンケート調査票の設置箇所を増やすなど、回収数の向上に努める。

○ 通年で調査を実施できるようアンケート調査票の設置場所である各空港側と早期に調整するとともに、アンケート調査票の設置箇所を増やすなど、回収数の向上に努めた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	通年で調査を実施できるようアンケート調査票の設置場所である各空港側と早期に調整するとともに、回収数の向上に向けた取組を引き続き実施する必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	通年で調査を実施できるようアンケート調査票の設置場所である各空港側と早期に調整するとともに、アンケート調査票の設置箇所を増やすなど、回収数の向上に引き続き努める。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-イ	地域・産業間連携による「稼ぐ力」と域内自給率の向上	施 策	②観光産業と多様な産業との連携
			施策の小項目名	〇市場ニーズの把握
主な取組	観光産業実態調査		対応する成果指標	一人当たり観光消費額（土産・買物費、飲食費）
施策の方向	・国内及びアジア展開や外国人観光客等の増加を踏まえ、観光業における実態調査を行い、市場ニーズに対応した食嗜好やパッケージ等の新たなニーズ・課題に対応する県内企業の商品開発、デザイン開発等を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
観光関連事業者を対象としたアンケート調査等の実施により、観光産業の現状と課題を把握する。	県	観光産業実態調査の実施による施策の企画・立案の促進		
		観光産業の実態調査等の実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光政策課 【 098-866-2763 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

観光産業実態調査事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

委託

7,584

7,143

令和5年度活動内容

観光産業実態調査を実施し、観光関連事業者の実態について調査・分析した。

予算事業名

観光産業実態調査事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

7,388

令和6年度活動計画

観光産業実態調査を実施し、観光関連事業者の実態について調査・分析する。

活動指標名

観光産業の実態調査等の実施回数（累計）

R3年度

R4年度

実績値

1回

1回

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

1回（2回）

1回（2回）

100.0%

進捗状況

順調

活動概要

景況感を中心とした観光関連事業者の現状・課題の把握を目的とした調査を3回実施した。
また、第6次観光振興基本計画の成果指標についてアンケート調査を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

計画のとおり観光産業実態調査を実施できたことにより施策の企画・立案を促進した。目標値を達成したため、順調と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

アンケート調査においては、設問の工夫を継続するとともに、Web上での回答を拡充することで、一定の回答数を確保する。

反映状況

内容が重複する設問を統合して設問数を減らすなど工夫するとともに、QRコードの積極的な活用を促すことで、回答数はおおむね増加した。

- 8 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	回答数のさらなる増加に向け、調査内容や方法について、引き続き工夫する必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	アンケート調査においては、設問の工夫を継続するとともに、Web上での回答を拡充することで、一定の回答数を確保する。
⑦ その他（改善余地の検証等）	成果指標等に係るアンケート調査については、施策の効果検証に役立てるため、現在よりも実施時期を早める必要がある。	⑦ 取組の時期・対象の改善	観光関連事業者の繁忙期なども考慮しつつ、調査時期の見直しや調査項目の簡略化などを検討する。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-イ	地域・産業間連携による「稼ぐ力」と域内自給率の向上	施 策	②観光産業と多様な産業との連携
			施策の小項目名	○体験交流型観光等の各種ツーリズムの推進
主な取組	沖縄観光コンテンツ開発支援事業		対応する成果指標	一人当たり観光消費額（土産・買物費、飲食費）
施策の方向	・また、観光産業と他産業をつなぐコーディネート機能を強化するほか、島しょ地域の特性を生かした体験交流型観光等の各種ツーリズムを推進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
民間事業者の実施する沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光コンテンツ開発を支援することにより、観光消費額の向上や滞在日数の延伸等、沖縄の抱える観光課題解決を図る。	県	観光コンテンツ開発への支援		
		観光コンテンツ開発支援件数（累計）		
		10件	10件（20件）	10件（30件）
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄観光コンテンツ開発支援事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

補助

105,607

83,520

令和5年度活動内容

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者11件を支援した。

予算事業名

沖縄観光コンテンツ開発支援事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

補助

92,025

令和6年度活動計画

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者10件を支援する。

活動指標名

観光コンテンツ開発支援件数
(累計)

R3年度

R4年度

R5年度

実績値

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

8件

15件

11件(26件)

10件(20件)

100.0%

進捗状況

順調

活動概要

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを支援した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

民間事業者や地域観光協会等が実施する観光コンテンツ開発やMICEメニュー開発を11件支援し、目標を達成した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○事業実施主体の所在町村、地域観光協会と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う必要がある。

○事業実施主体の所在町村、地域観光協会と連携し、地域周遊型コンテンツ造成等、持続可能なコンテンツ開発を行った。

- 11 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	多彩で質の高いコンテンツを開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域との連携が必要である。	② 連携の強化・改善	事業実施主体の所在町村、地域観光協会と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う。
⑦ その他（改善余地の検証等）	継続して販売できる販路を確保する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	商談会等に積極的に参加し、販路開拓を続ける。